

ひろがる・つながる入口支援 ～新潟の入口支援～

罪を犯した障害者・高齢者にはさまざまな福祉ニーズがあることが明らかになっています。罪を犯した障害者・高齢者への福祉的支援は、これまで刑務所等の出所段階、いわゆる出口と支援として発展してきました。

一方、被疑者・被告人段階の障害者・高齢者への福祉的支援、いわゆる入口支援の重要性にも注目が集まっています。2021年度からの地域生活定着支援センターでの被疑者等支援業務が開始され、2023年の日本弁護士連合会の規則改正により、福祉的支援に一定の活動費用が支出されるようになりました。このように、罪を犯した障害者・高齢者への入口支援は広がりを見せています。

一方で、入口支援の取組みは地域によって差が生じている現状もあります。新潟県では、新潟TSネットが中心となり、日本弁護士連合会の制度を活用した入口支援を弁護士・福祉専門職の連携によって歩みだそうとしているところです。

本研究集会では、入口支援の全国的な展開を整理し、そのうえで、新潟県に取組みについて議論をしていきます。さらには、新潟県だけでなく、入口支援が全国的に広がっていくことを期待し、未来志向での議論ができる場にしたいと願っています。

日時：2025年5月31日（土）

午後1時30分～4時30分

会場：燕三条地場産業振興センター リサーチコア マルチメディアホール

1. 会長挨拶

2. 基調講演「入口支援の現状と展望」

山田 恵太（一般社団法人東京TSネット／Mieli法律事務所）

3. パネル・ディスカッション

平栗 華代（新潟県地域生活定着支援センター）

石山 正彦（新潟みなと法律事務所）

竹田 一光

（新潟TSネット／新潟市障がい者基幹相談支援センター西）

コーディネーター

藤原 正範

（日本福祉大学ソーシャルインクルージョン研究センター）

参加費：無料（QRコードよりお申込みください）

問い合わせ先：tsuyoshi-kaneko@nuhw.ac.jp

金子毅司



参加申込フォーム